

防火クラブ・自主防災組織会長会議開催

雲南防火委員会（会長 障子弘敏消防長）では、5月19日（日）、一般財団法人日本防火・防災協会の共催により「防火クラブ・自主防災組織会長会議」を255人の参加を得て開催しました。

会議では火災概況の説明、住宅用火災警報器の奏功事例及び維持管理についての説明を行いました。

会議に先立ち、公益財団法人 日本防災協会 大阪事務所長 野田重良氏を講師にお招きし、「身の回りの防災化による防火の推進」と題し、火災から命を守るために住宅の防災化がいかに重要になるかを分かりやすくご講演いただきました。

この会議を通じ知り得たことを、防火クラブの皆様が必ずや、今後地域の防災に活用し、防火・防災の担い手となって、組織の充実強化に努めていただけるものと確信しております。

また、日頃の積極的な活動が認められ、7防火クラブが雲南防火委員会会長表彰を受賞されました。



野田重良氏 講演の様子



受賞された防火クラブの皆さん

- 会長表彰クラブ**
- 14区自主防災会 (雲南市木次町)
 - 川西自治会防火クラブ (雲南市大東町)
 - 南加茂東女性防火クラブ (雲南市加茂町)
 - 禅定公民館婦人防火クラブ (雲南市三刀屋町)
 - 滝谷婦人防火クラブ (雲南市掛合町)
 - 上分防火クラブ (仁多郡奥出雲町)
 - 塩谷婦人防火クラブ (飯石郡飯南町)

花火の季節になりました

夏の風物詩の一つといえば花火です。これから、花火で遊ぶ機会が多くなります。花火は取り扱い方法を間違わなければ楽しいですが、ひとたび取り扱いを誤ると、思わぬ事故につながり大変危険です。ここでは事例を交え、安全に取り扱うポイントをご紹介します。

事例1 子どもが花火でやけど

親が持っていた花火に子どもが手を添えたところ、柄が折れて火花が散り、子どもが顔と目にやけどを負った。



事例2 点火方法を誤り花火でやけど

花火を持ち、ライターで火をつけたところ、火花でライターを持った右手の人差し指と親指にやけどを負った。



ポイント

- ・花火の取扱説明書を確認し、花火の遊び方、注意事項を必ず守りましょう。
- ・子どもだけで花火を行うことは危険です。必ず大人の方が付き添って下さい。
- ・すぐに消火できるように、水の入ったバケツなどを用意しましょう。

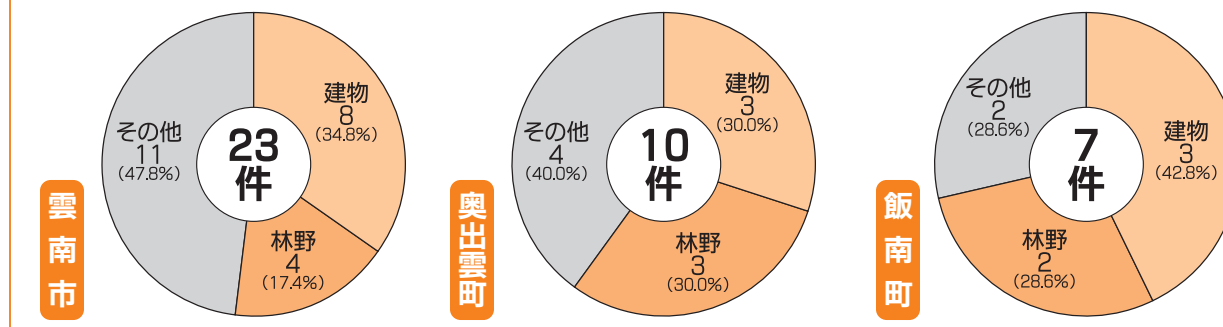
以上のポイントに注意し、安全で楽しい夏を過ごしましょう。

上半期の火災・救急・救助統計

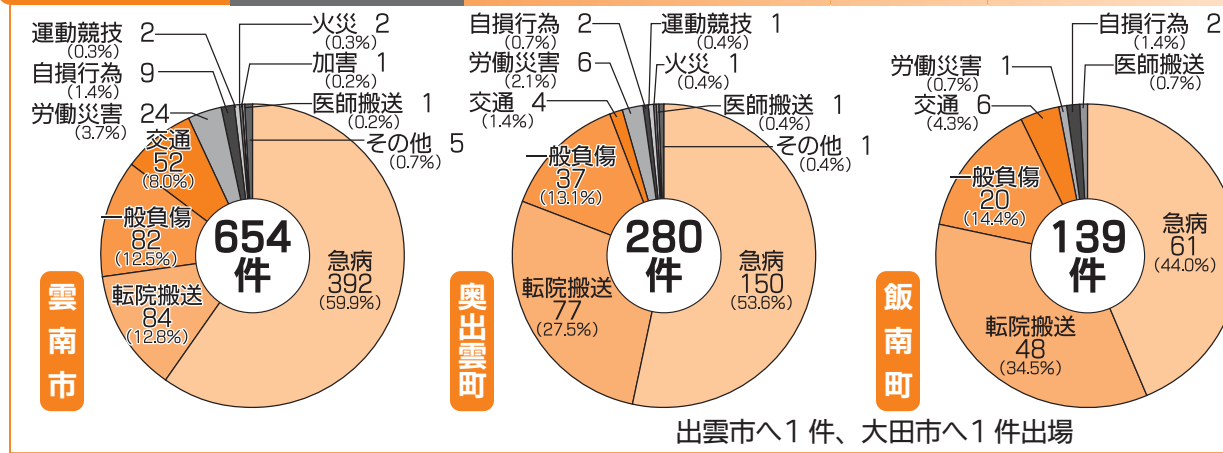
出動件数

平成25年1月1日
～6月30日

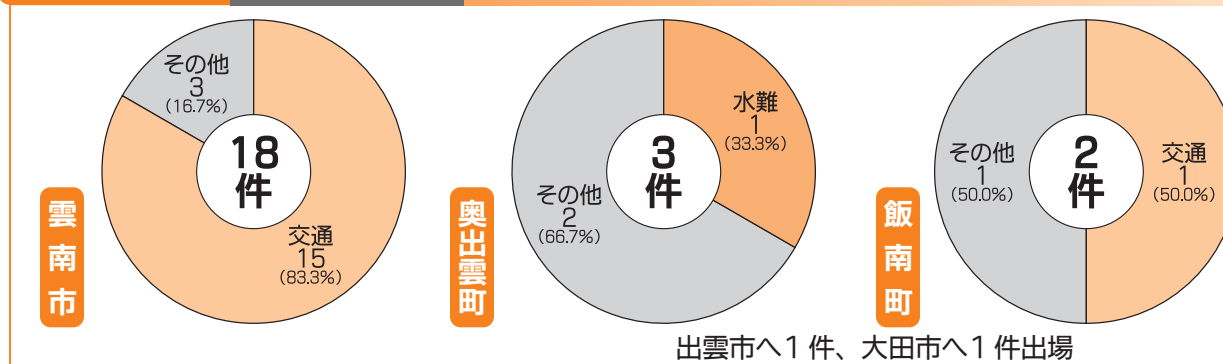
火災出動 40件 平成24年上半期 12件



救急出場 1075件 平成24年上半期 1095件



救助出動 25件 平成24年上半期 34件



今年6月末までの火災は40件発生しており、昨年同期と比較すると28件増加しています。増加の内訳は、建物11件、林野8件、その他11件であり、車両については2件の減少です。また、主な火災原因は、枯れ草焼き10件、寄せ焼き9件、放火の疑い・煙突の接触が各3件となっています。ちょっとした不注意により火災が発生していますので、火の取扱いには十分注意していただき、引き続き火災予防にご協力をよろしくお願いいたします。

平成25年度全国統一防火標語

「消すまでは 心の警報 ONのまま」